

< 麻酔科系コース >

研修概要

当院のみでは、研修不可能な麻酔管理領域があるので、そのような領域に関しては適宜他施設において研修を行う予定である。

- 1年目：研修開始後3ヶ月目までは、全身的な合併症を持たない症例の麻酔管理を主に担当する。
その後の3ヶ月間で高齢者や小児患者を、次の3ヶ月間では脳神経外科症例や合併症を有する患者を、1年次の最後の3ヶ月間で様々な症例の麻酔管理を担当する。1年間で全身麻酔症例 400例以上、その他の麻酔症例を含めて計500例以上の麻酔管理を経験することを目標とする。
- 2年目：当院のみでは研修不可能な麻酔管理領域を経験するため、関連する都立病院や大学病院等で週に3～5日間研修を行う。前半は心臓血管手術の麻酔管理を、後半は新生児・小児症例の麻酔管理を研修する。2年次終了後、申請により厚生労働省 麻酔科標榜医、日本麻酔科学会 麻酔科認定医の取得が可能である。
- 3年目：前半のうち3ヶ月間は、他院の3次救急施設において救急救命領域や重傷患者における麻酔管理、術前・術後の患者管理を研修する。その後の3ヶ月間では本人の希望領域(麻酔科領域に限定しない)の研修を行う。後半の6ヶ月間は週に3～4日間手術室内で手術時の麻酔管理を研修し、残りの日はペインクリニック外来において研修する。また、癌性疼痛患者の緩和ケアについても大学からの非常勤医師の指導のもとで研修する。
- 4年目：手術室・ペインクリニック外来・救急外来・集中治療室などで総合的に研修する。状況・希望により他科や他施設における研修も可能である。4年次終了後、日本麻酔科学会 麻酔科専門医試験の受験資格が取得できる。

また、学位の取得を希望する者は、関連する大学の基礎医学教室において取得が可能である。

取得可能な専門医受験資格

日本麻酔科学会 麻酔科専門医

(前述のように厚生労働省 麻酔科標榜医および日本麻酔科学会 麻酔科認定医は研修期間中に申請のみで取得可能である。)

指導体制

氏名	専門医資格	氏名	専門医資格
米良 仁志	日本麻酔科学会麻酔科 指導医 日本ペインクリニック 学会認定医	橋本 誠	日本麻酔科学会麻酔科 指導医 日本ペインクリニック 学会専門医
佐々木 佐枝子	日本麻酔科学会麻酔科 認定医	出原 郁	日本麻酔科学会麻酔科 指導医 日本ペインクリニック 学会認定医
角田 博	日本麻酔科学会麻酔科 専門医	生方 祐介	日本麻酔科学会麻酔科 認定医

なお、指導者全員 厚生労働省麻酔科標榜医である。